



JFEグループ

2003年度決算および

2004年度業績見通し

2004年5月20日



JFE

本日の内容

1. ご挨拶…………… 代表取締役副社長 宮崎徹夫
2. 2003年度決算および2004年度業績見通し
3. 中期経営計画の達成状況・その他のトピックス
…………… 常務執行役員 財務・IR部門長 林田英治

本資料は、証券取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



目 次

- 2003年度決算
 - JFEスチール
 - JFEエンジ/JFE都市開発/LSI事業
 - JFEホールディングス
- 2004年度業績見通し
 - JFEスチール
 - JFEエンジ/JFE都市開発/LSI事業
 - JFEホールディングス
- 中期経営計画の進捗状況
- トピックス



JFEグループ 2003年度 連結決算



JFE

2003年度決算(対見通し)

	3/4公表見通し		実績		増減	
	上期実	年間予	上期	年間	上期	年間
売上高	11,203	24,800	11,203	24,737	0	△63
営業利益	1,099	2,450	1,099	2,536	0	86
営業外損益	△171	△350	△171	△352	0	△2
経常利益	927	2,100	927	2,183	0	83
特別損益	△154	△350	△154	△319	0	31
当期利益	450	950	450	1,068	0	118



連結売上高・営業利益(対見通し)

(単位:億円)

	3/4公表見通し		実績		増減	
	上期実	年間予	上期	年間	上期	年間
鉄鋼事業	10,042	21,000	10,042	21,039	0	39
エンジニアリング事業	1,037	3,400	1,037	3,394	0	△6
都市開発事業	90	280	90	262	0	△18
L S I 事業	198	400	198	404	0	4
消去又は全社	△164	△280	△164	△363	0	△83
売上高	11,203	24,800	11,203	24,737	0	△63
鉄鋼事業	1,146	2,380	1,146	2,427	0	47
エンジニアリング事業	△73	30	△73	31	0	1
都市開発事業	5	16	5	14	0	△2
L S I 事業	23	48	23	49	0	1
消去又は全社	△2	△24	△2	12	0	36
営業利益	1,099	2,450	1,099	2,536	0	86



JFEスチール

2003年度 連結決算



JFE

03年度決算の状況

JFEスチール

単位: 億円

03年度ROS
 単体 11.7% ⇔ POSCO 19%
 連結 9.9% ⇔ CSC 35%

	02年度実績(A)			03年度実績(B)			差異 年間
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	
(単体)	(6,034)	(6,435)	(12,469)	(6,593)	(6,753)	(13,346)	(877)
売上高	9,389	10,386	19,774	10,042	10,997	21,039	1,265
(単体)	(294)	(533)	(827)	(824)	(870)	(1,694)	(867)
営業利益	470	859	1,329	1,146	1,280	2,427	1,098
(単体)	(147)	(456)	(603)	(728)	(833)	(1,561)	(958)
経常利益	225	685	910	965	1,120	2,085	1,175
(単体)				(354)	(476)	(830)	
純利益				471	527	998	

★02年度の経常利益等については、概算値となっております。



JFE

02年度⇒03年度 連結経常利益+1,175億円内

単位:億円

	02年度実績(A)			03年度実績(B)			差異 年間
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	
(単体)	(147)	(456)	(603)	(728)	(833)	(1,561)	(958)
経常利益	225	685	910	965	1,120	2,085	1,175

スチール単体変化

- **コスト変動** **+502**
 - 変動費 +560 (歩留、変動費等)
 - 労務費 ▲20 (賞与▲80、効率化+60)
 - 償却費 +20
 - 固定費 +30 (補修費削減)
 - その他 ▲88 (年金数理差異償却、特別退職金経常利益取込等)
- **原料単価** **▲317**
- **為替レート** **▲155** (レート121.9→113.6 8.3円円高)
- **償却一過性** **▲209** (福山、京浜定額法⇒定率法▲113、増加償却▲96)
- **数量、構成、価格** **+1,041**
- **営業外損益他** **+96** (金融収支+50、為替予約+100、資産廃却等▲54)

コスト削減額合計
552億円

スチール単体利益変化 **+958** (02年度603億円→03年度1561億円)

関係会社利益変化 **+217** (電炉、ケミカル、資源、鋼材加工等大部分の事業が増益)



JFE

02年度⇒03年度 連結経常利益+1,175億円内訳

単位: 億円

	02年度実績(A)			03年度実績(B)			差異 年間
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	
(単体)	(147)	(456)	(603)	(728)	(833)	(1,561)	(958)
経常利益	225	685	910	965	1,120	2,085	1,175

スチール単体変化

- **コスト変動** +502
 - 変動費 +560 (歩留、変動費等)
 - 労務費 ▲20 (賞与▲80、効)
 - 償却費 +20
 - 固定費 +30 (補修費削減)
 - その他 ▲88 (年金数理差異)
- **原料単価** ▲317
- **為替レート** ▲155 (L)
- **償却一過性** ▲209 (福)
- **数量、構成、価格** +1,041
- **営業外損益他** +96

スチール単体利益変化 +958 (02)

関係会社利益変化 +217 (電)

<活動としての評価>

- ・単体経常利益変化 +958億円
- 償却費一過性 +209億円
- 為替/営業外 +109億円(除く金融収支)

実質改善額 +1,276億円

- ・コスト削減実質 +502
- ・金融収支改善 +50
- ・ONLY1、NO1 +100程度

約650億円の改善

中期計画の半分を達成

- ・原料単価▲317
- ・数量価格+940程度

約620億円の改善



JFE

03上⇒03下 連結経常利益+155億円内訳

単位:億円

	02年度実績(A)			03年度実績(B)			差異 03上⇒下
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	
(単体)	(147)	(456)	(603)	(728)	(833)	(1,561)	(105)
経常利益	225	685	910	965	1,120	2,085	155

スチール単体変化

- **コスト変動** +70
 - 変動費 +130 (歩留、変動費等)
 - 労務費 ▲50 (賞与▲50)
 - 償却費 ▲18
 - 固定費 +5 (補修費削減)
 - その他 +3
- **原料単価** ▲139
- **為替レート** ▲105 (レート119.1→108.7 10.4円円高)
- **償却一過性** ▲17 (京福定率法影響拡大)
- **数量、構成、価格** +234
- **営業外損益他** +62 (金融収支+5、為替予約+95、資産廃却等▲38)

コスト削減額合計
75億円

スチール単体利益変化 +105 (03上728億円→03下833億円)

関係会社利益変化 +50 (電炉、持分法減益も建材+工事系の季節差が大きく増益)



営業外損益

(単位:億円)

	02上	02下	03上	03下
連結	▲245	▲174	▲182	▲160
(単体)	(▲147)	(▲77)	(▲96)	(▲37)
(持分)	(22)	(48)	(30)	(▲4)
(その他)	(▲120)	(▲145)	(▲116)	(▲119)

<単体内訳>

金融収支	▲100	▲113	▲84	▲82
為替差額	▲50	▲11	▲36	+76
その他	+3	+47	+24	▲31



(参考) 03年度生産・出荷状況

JFE

(単位:千トン)

03年度 粗鋼生産

	03/上	03/下	03年度
単体	13,410	13,597	27,007
電炉子会社	1,751	1,789	3,540
連結	15,161	15,386	30,547

(参考) 2003暦年の連結粗鋼は 30,216千トン

03年度出荷状況

03年度	売上数量		
鋼板	19,972	千t	79%
条鋼	1,894	千t	8%
鋼管	1,598	千t	6%
その他	1,783	千t	7%
	25,247		

03上

	売上数量		
鋼板	9,829	千t	80%
条鋼	908	千t	7%
鋼管	713	千t	6%
その他	870	千t	7%
	12,320		

03下

	売上数量		
鋼板	10,143	千t	78%
条鋼	986	千t	8%
鋼管	884	千t	7%
その他	914	千t	7%
	12,927		



(参考) 03年度出荷状況

JFE

03年度輸出地域別比率

数量ベース

	03上 %	03下 %	03年度 %
アジア	88%	85%	86%
アメリカ	5%	6%	6%
欧州	1%	1%	1%
その他	6%	8%	7%
合計	100%	100%	100%

中南米含む



(参考) 03年度関係会社の状況

JFE

		売上高	経常利益
NKK条鋼	02年度	1,212	21
	03年度	1,269	65
ダイワスチール	02年度	305	10
	03年度	360	27
東北スチール	02年度	89	1
	03年度	116	8
豊平製鋼	02年度	97	▲0
	03年度	118	9

4/13発表値

		売上高	経常利益
JFEミネラル(連)	02年度	618	33
	03年度	627	48
水島合金鉄	02年度	168	9
	03年度	167	16

		売上高	経常利益
JFE鋼板(連)	02年度	701	14
	03年度	778	41
JFE建材(連)	02年度	862	21
	03年度	801	17

		売上高	経常利益
JFEケミカル(連)	02年度	678	38
	03年度	682	87
川鉄情報システム(連)	02年度	357	19
	03年度	364	14

		売上高	経常利益
TCS	02年度	89	▲2
	03年度	110	5
PSC	02年度	28	6
	03年度	28	8
		持分	連結寄与
CSI	02年度		21
	03年度	50.0%	2
TCR	02年度		9
	03年度	39.7%	10



JFEエンジニアリング

JFE都市開発

LSI事業

2003年度 連結決算



JFEエンジ 02年度⇒03年度

JFE

(億円)

	02年度実績			03年度実績			差異 年間
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	
環境	433	1,337	1,770	574	917	1,491	▲279
その他	899	1,011	1,910	846	1,044	1,890	▲20
受注高	1,332	2,348	3,680	1,420	1,961	3,381	▲299
造船	508	12	520				▲520
環境	663	1,217	1,880	398	949	1,347	▲533
その他	793	1,380	2,173	639	1,408	2,047	▲126
売上高	1,964	2,609	4,573	1,037	2,357	3,394	▲1,179
造船	72	▲2	70				▲70
環境	▲5	85	80	▲52	52	0	▲80
その他	▲34	13	▲21	▲21	52	31	52
営業利益	33	96	128	▲73	104	31	▲97

(*注:2002年度の受注高には造船を含まず)

販売規模縮小 ▲85 販管費削減+30
 プライスダウン ▲50 コストダウン等 +77



(参考) 03年度関係会社の状況

(単位: 億円)

		売上高	経常利益
JFE工建	02年度	1,022	▲1
	03年度	877	7
JFEプラント & サービス	02年度	885	56
	03年度	578	39
		持分	連結寄与
ユニバーサル造船	02/下		▲7
	03年度	50.0%	33



都市開発・LSI 02年度⇒03年度

JFE

都市開発

(億円)

	02年度実績			03年度実績			差異 年間
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	
売上高	111	197	308	90	172	262	▲46
営業利益	2	8	10	5	9	14	4

子会社エヌケーホームの清算により減収となるも、高採算物件売上等で増益

LSI

(億円)

	02年度実績			03年度実績			差異 年間
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	
売上高	183	158	341	198	206	404	63
営業利益	8	4	12	23	26	49	37

デジタル家電向け製品の販売増及びコスト削減により増収増益



JFEホールディングス

2003年度 連結決算



2003年度連結決算(対前年度)

	02年度		03年度		増減	
	上期	年間	上期	年間	上期	年間
売上高	11,322	24,268	11,203	24,737	△119	469
営業利益	500	1,468	1,099	2,536	599	1,068
営業外損益	△238	△422	△171	△352	67	70
経常利益	262	1,046	927	2,183	665	1,137
特別損益	△93	△785	△154	△319	△61	466
税前利益	168	261	773	1,864	605	1,603
税・少持	7	△102	△322	△795	△329	△693
当期利益	176	159	450	1,068	274	909



連結売上高・営業利益(対前年度)

(単位:億円)

	2002年度(注)		2003年度		増 減	
	上期	年間	上期	年間	上期	年間
鉄 鋼 事 業	9,389	19,774	10,042	21,039	653	1,265
エンジニアリング事業	1,964	4,573	1,037	3,394	△ 927	△1,179
都市開発事業	111	308	90	262	△ 21	△46
L S I 事業	183	341	198	404	15	63
消去又は全社	△ 326	△729	△164	△363	162	366
売 上 高	11,322	24,268	11,203	24,737	△ 119	469
鉄 鋼 事 業	470	1,329	1,146	2,427	676	1,098
エンジニアリング事業	33	128	△73	31	△ 106	△97
都市開発事業	2	10	5	14	3	4
L S I 事業	8	12	23	49	15	37
消去又は全社	△ 14	△12	△2	12	12	24
営 業 利 益	500	1,468	1,099	2,536	599	1,068

(注)2003年度のセグメント区分(事業会社別への再編後ベース)に組替えている



JFE

2003年度 特別損益と当期損益

(単位:億円)

経常利益	2,183	
特別損益	▲319	
■ 投資有価証券売却益	36	
■ 退職給付移行差額	▲228	
■ 投資有価証券評価損	▲23	海外株式等
■ 固定資産売却損	▲22	子会社の厚生施設処分等
■ 固定資産関係損	▲65	設備集約関連 (京浜 小径ERW等)
■ 関係会社厚生年金基金脱退損	▲16	
税引前当期利益	1,864	
税金費用	▲772	
少数株主損益	▲22	
当期利益	1,068	

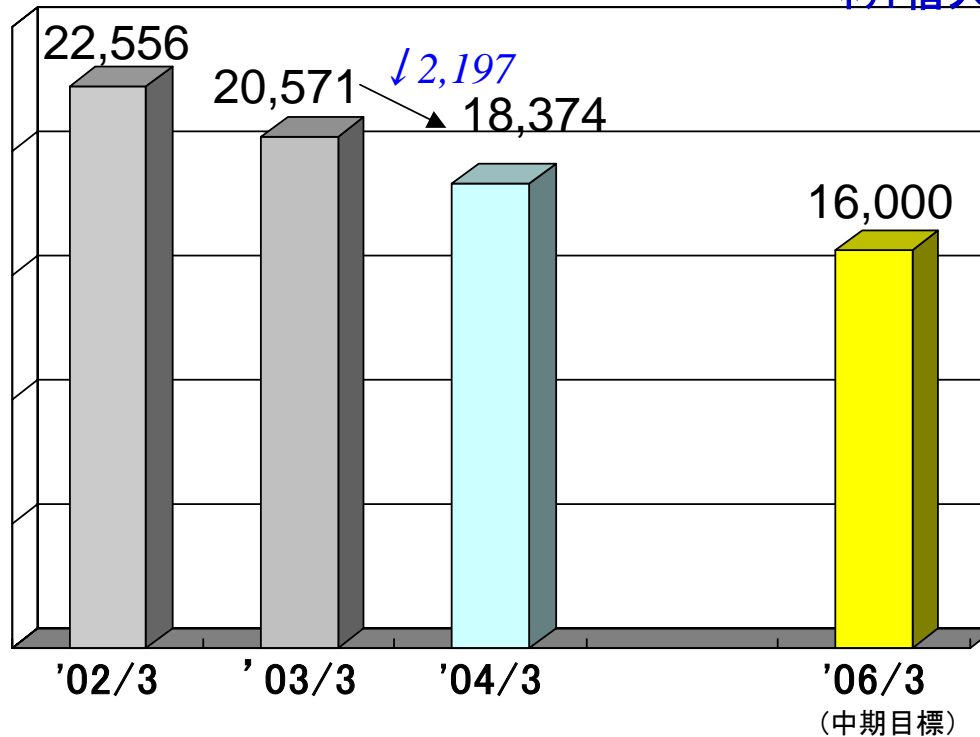


JFE

2003年度C/F と 04/3借入金・社債

(単位:億円)

経常利益	2,183	}	フリーキャッシュフロー	2,220
減価償却費	1,856		配当支払	▲86
設備投資(支払ベース)	▲1,295		現預金取崩他	63
その他	▲524		ネット借入金返済	2,197





JFEグループ

2004年度 連結業績見通し



JFE

2004年度業績見通し

	03年度実績		04年度見通し		増 減	
	上期	年間	上期	年間	上期	年間
売上高	11,203	24,737	12,400	26,700	1,197	1,963
営業利益	1,099	2,536	1,250	3,050	151	514
営業外損益	△171	△352	△100	△250	71	102
経常利益	927	2,183	1,150	2,800	223	617
特別損益	△154	△319	△350	△800	△196	△481
税 前 利 益	773	1,864	800	2,000	27	136
税・少持	△322	△795	△350	△900	△28	△105
当期利益	450	1,068	450	1,100	0	32



JFE

連結売上高・営業利益見通し

	03年度実績		04年度見通し		増 減	
	上期	年間	上期	年間	上期	年間
鉄 鋼 事 業	10,042	21,039	11,000	22,400	958	1,361
エンジニアリング事業	1,037	3,394	1,200	3,800	163	406
都市開発事業	90	262	120	330	30	68
L S I 事業	198	404	230	520	32	116
消去又は全社	△164	△363	△150	△350	14	13
売 上 高	11,203	24,737	12,400	26,700	1,197	1,963
鉄 鋼 事 業	1,146	2,427	1,300	2,900	154	473
エンジニアリング事業	△73	31	△90	80	△17	49
都市開発事業	5	14	6	19	1	5
L S I 事業	23	49	29	61	6	12
消去又は全社	△2	12	5	△10	7	△22
営 業 利 益	1,099	2,536	1,250	3,050	151	514



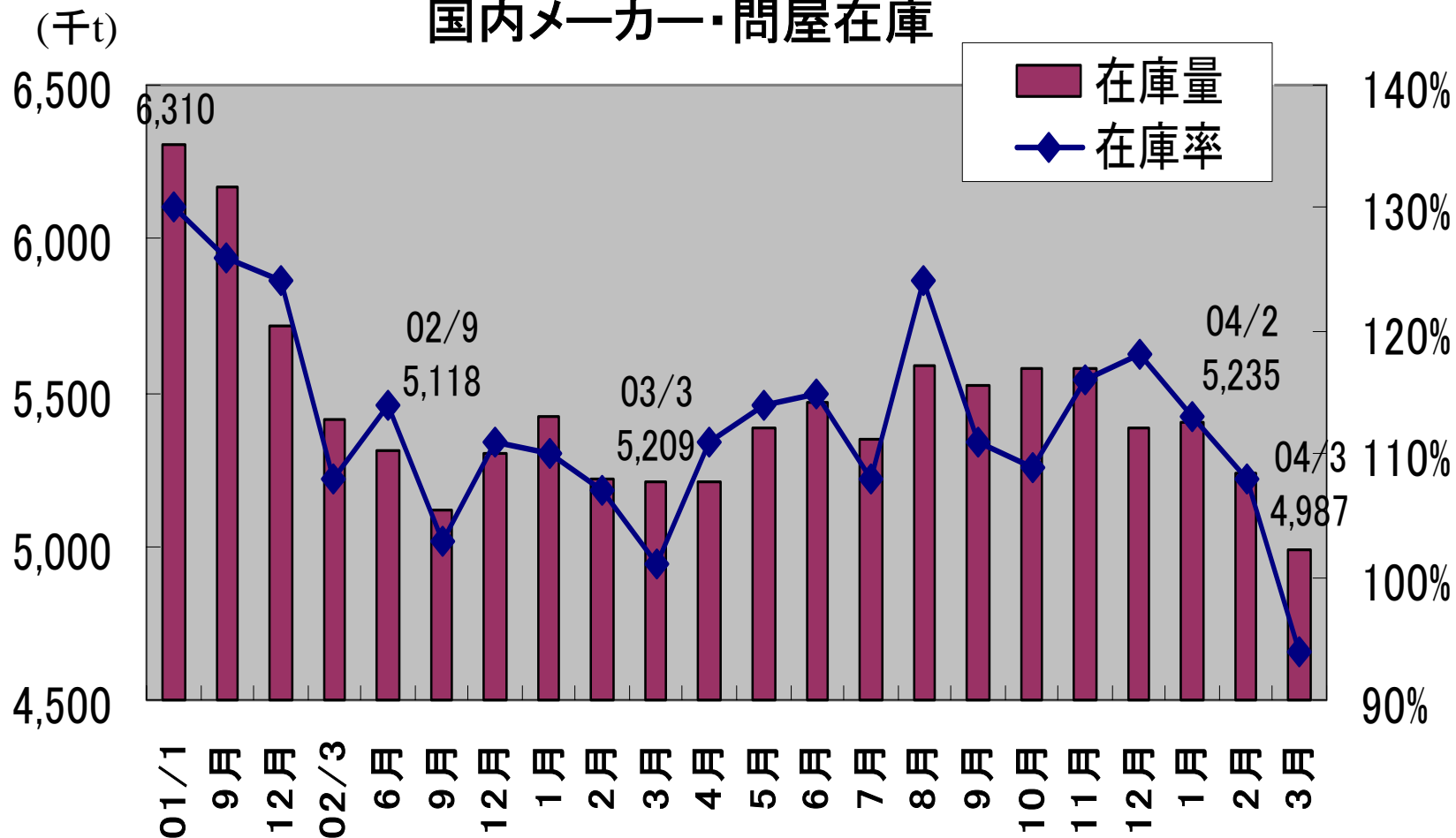
JFEスチール
2004年度 連結業績見通し



JFE

国内販売環境

国内メーカー・問屋在庫

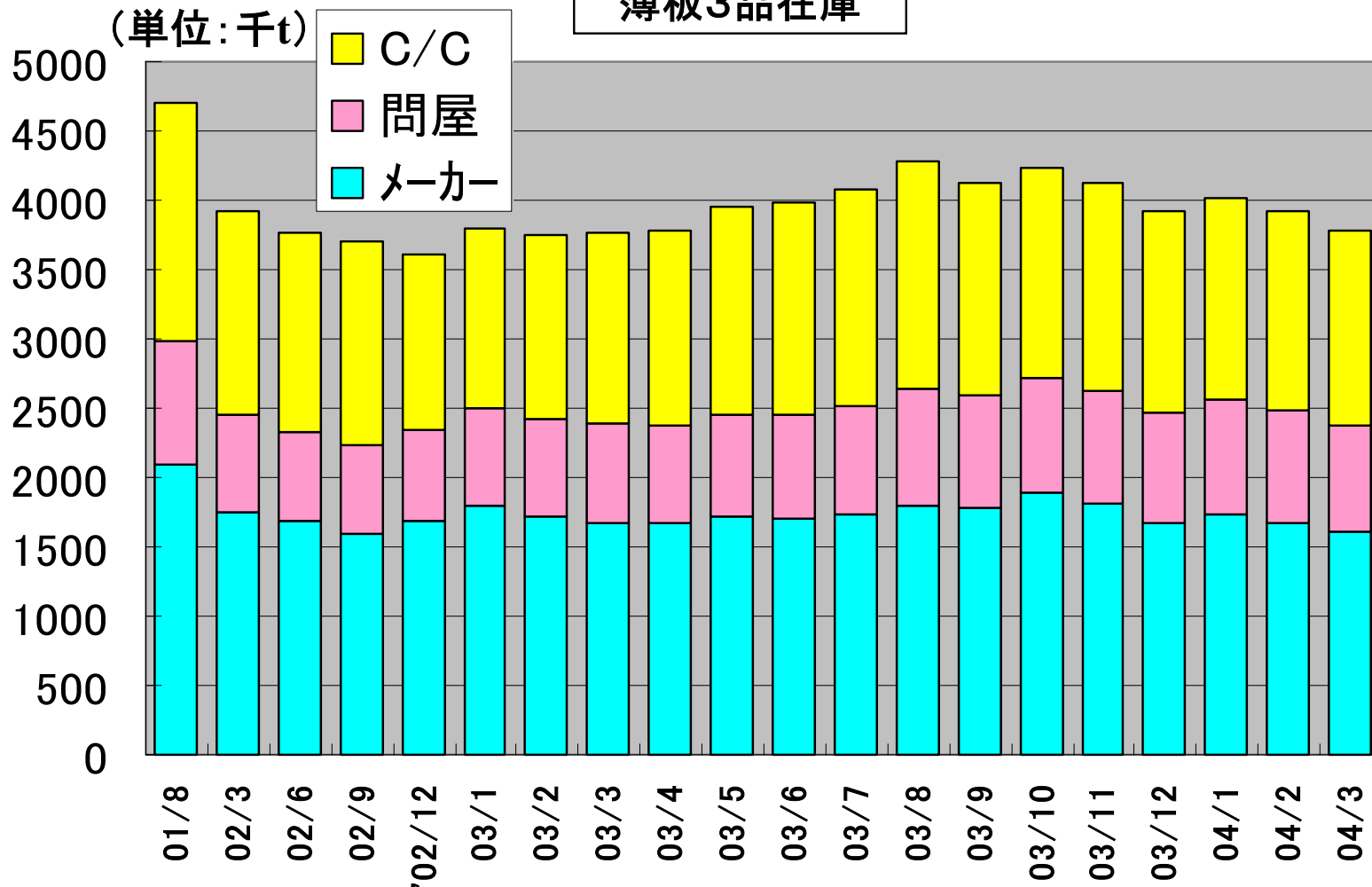




国内販売環境

JFE

薄板3品在庫





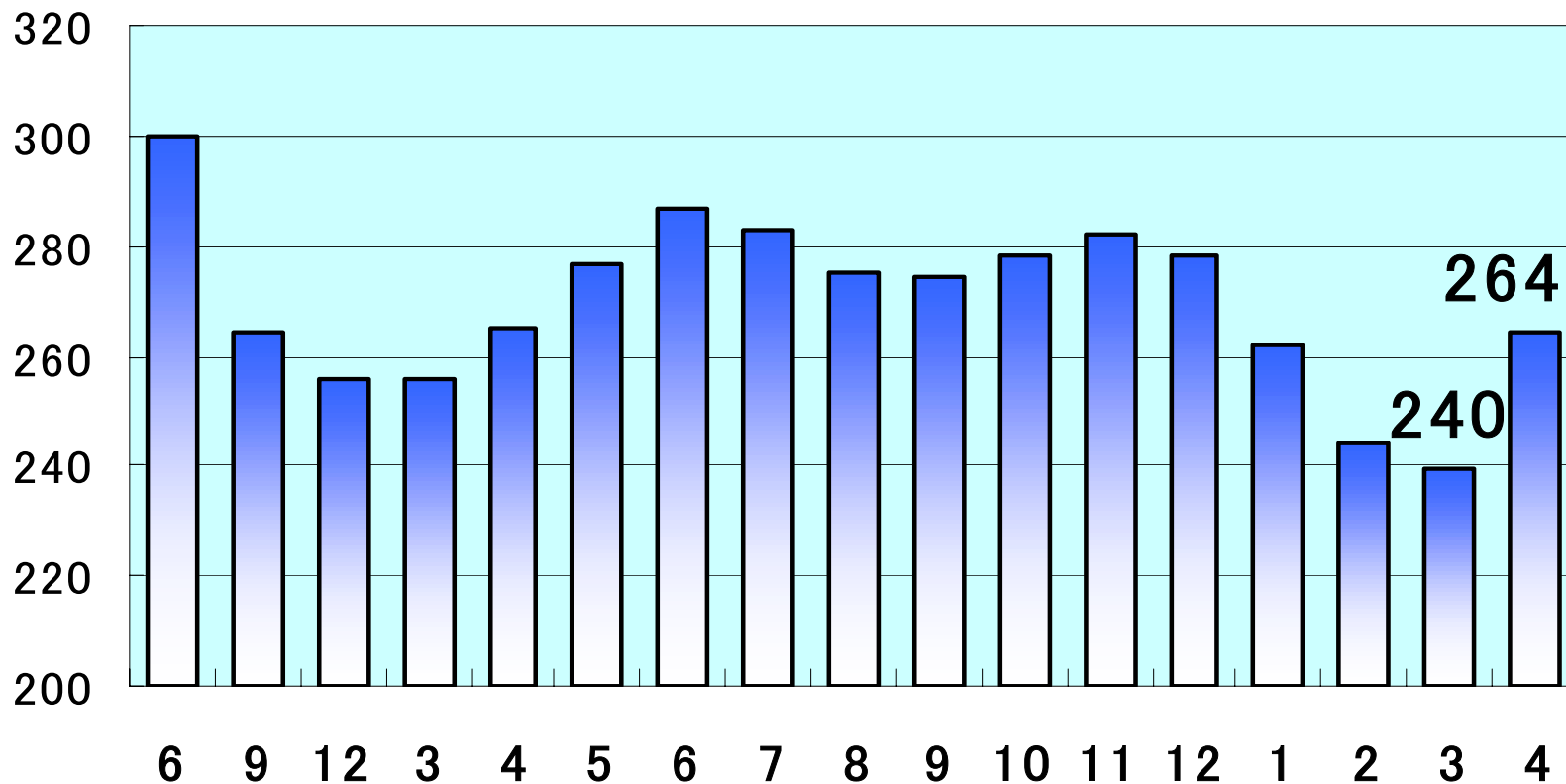
JFE

国内販売環境

◆ 形鋼

ときわ会在庫

(単位:千t)

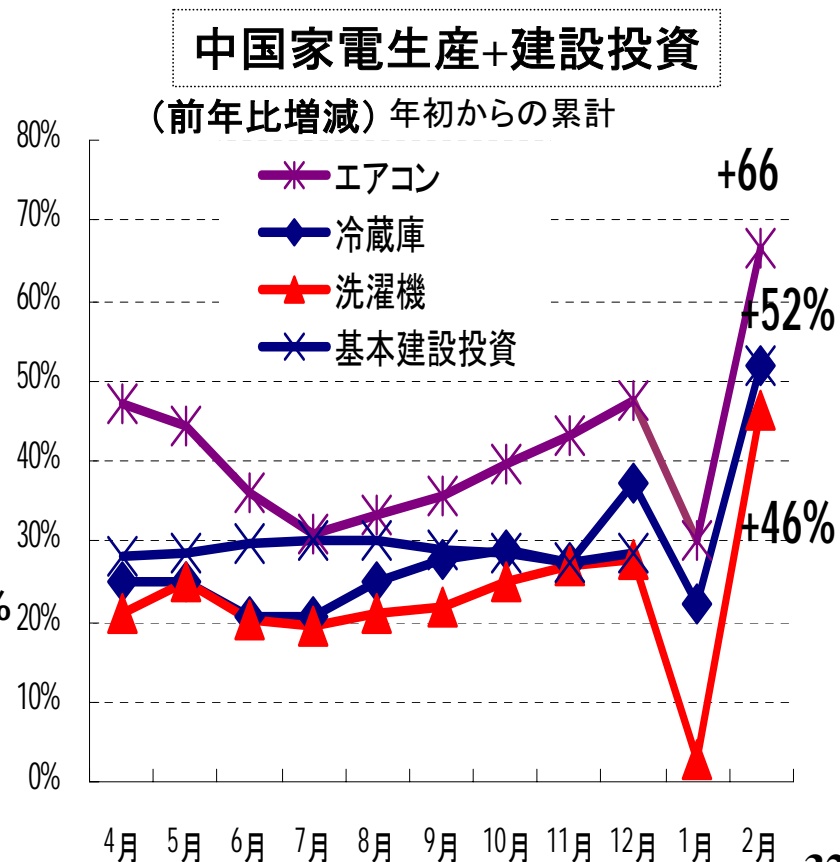
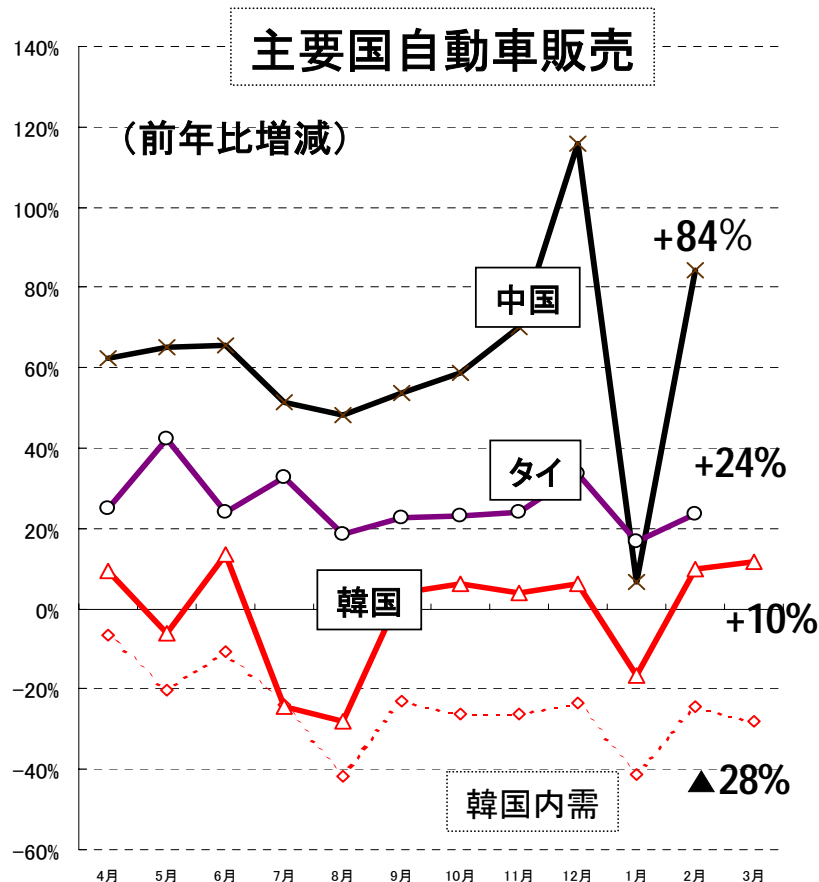




JFE

輸出販売環境

◇ 中、韓は旧正月ポジション影響(03年:2月、04年:1月)により1月は低下したが、2月は勢いを取り戻し、大幅な増加となった。

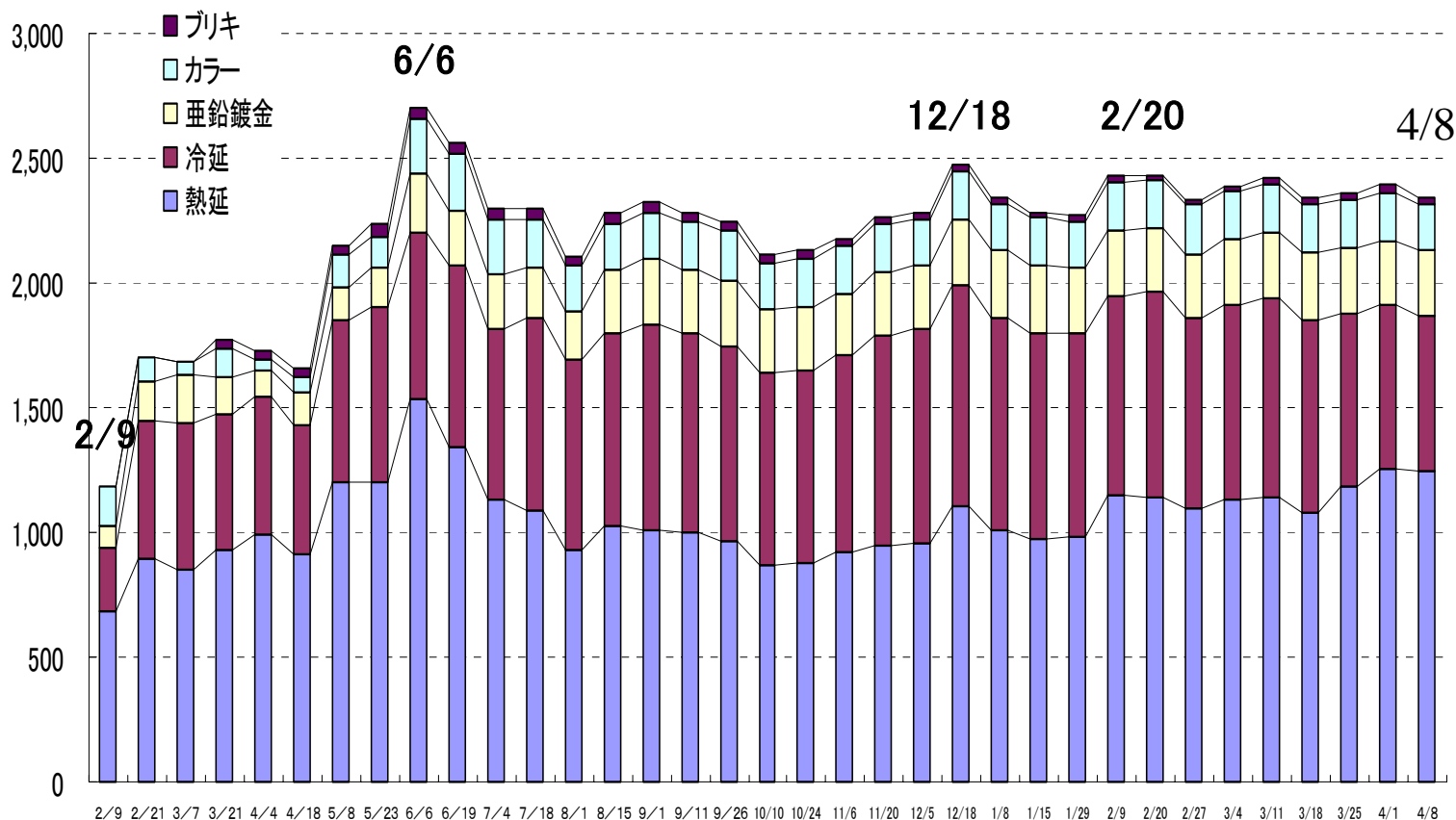




輸出販売環境

JFE

中国汎用薄板在庫 ~華東地区(保税在庫含む)~





JFE

当社の状況

数量前提(千t)

	03年度 実績	04年度 予想
粗鋼生産 (単体)	27,007	▲ 微増
鋼材出荷 (単体)	25,247	▲ 微増

平均単価(千円/t) 50.5

連結 粗鋼生産	30,547	—
------------	--------	---

(参考) 2003暦年(実績)の連結粗鋼は、30,216千トン

・国内 土木分野縮小も
建築、製造業は引続き堅調
⇒03年度並みの販売を見込む

輸出 中国を中心とした需要堅調、
アライアンス向け半製品増も
あり、全体での販売増を見込む

為替レート前提

売上高/営業利益の前提は、04年度105円/\$

但し、経常損益ベースでは大部分予約済み(約108円/\$)



JFE

04年度 業績見通し

JFEスチール

単位: 億円

04年度ROS
 単体 13.8%
 連結 11.8%

	03年度実績(B)			04年度見通(C)			差異 年間
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	
(単体)	(6,593)	(6,753)	(13,346)	(7,300)	(7,200)	(14,500)	(1,154)
売上高	10,042	10,997	21,039	11,000	11,400	22,400	1,361
(単体)	(824)	(870)	(1,694)	(1,000)	(1,050)	(2,050)	(356)
営業利益	1,146	1,280	2,427	1,300	1,600	2,900	473
(単体)	(728)	(833)	(1,561)	(1,000)	(1,000)	(2,000)	(439)
経常利益	965	1,120	2,085	1,200	1,450	2,650	565
(単体)	(354)	(476)	(830)	(500)	(400)	(900)	(70)
純利益	471	527	998	480	570	1,050	52



03年度⇒04年度 連結経常利益+565億円増益内訳

単位: 億円

JFE

	03年度実績(A)			04年度見通(B)			差異 年間
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	
(単体)	(728)	(833)	(1,561)	(1,000)	(1,000)	(2,000)	(439)
経常利益	965	1,120	2,085	1,200	1,450	2,650	565

■ コスト変動

+560

- 変動費 +480 (配合/歩止/原単位等)
- 労務費 ▲70 (効率化に賞与UP▲95を折込)
- 償却費 +75
- 固定費 +35 (補修費削減)
- その他 +40

04年度コスト削減額
年間約600億円を計画
03年度からの累計は、
約1,150億円(中期前倒)

■ 為替レート

▲115 (レート113.6→105 8.6円円高)

■ 原料単価

▲1,500

■ 数量、構成、価格 +1,400

- ・Only1, No1比率の拡大(中期計画前倒達成)
- ・アライアンス先及び投資会社のプロミックス改善と価格の適正化他

■ 営業外損益他

+ 94 (金融収支+43、廃却損等+51)

スチール単体利益変化

+439 (03年度1,561億円→04年度2,000億円)

関係会社利益変化

+126 (03 524億円→04 650億円電炉系好調/持分法改善)

スチール単体変化



03下⇒04上 連結経常利益+80億円増益内訳

単位:億円

JFE

	03年度実績(A)			04年度見通(B)			差異 03下⇒04上
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	
(単体)	(728)	(833)	(1,561)	(1,000)	(1,000)	(2,000)	(167)
経常利益	965	1,120	2,085	1,200	1,450	2,650	80

スチール単体変化

- コスト変動 **+210**
 - 変動費 +130 (配合/歩止/原単位等)
 - 労務費 - (効率化に賞与UP▲10を折込)
 - 償却費 +60
 - 固定費 +10 (補修費削減)
 - その他 +10
 - 為替レート **▲ 25** (レート108.7→105 3.7円円高)
 - 原料単価 **▲650**
 - 数量、構成、価格 **+590**
 - 営業外損益他 **+ 42** (金融収支+29、為替予約+換算▲55、廃却損等+68)
-
- スチール単体利益変化 **+167** (03下833億円→04上1,000億円)
- 関係会社利益変化 **▲ 87** (季節差)



04上⇒04下 連結経常利益+250億円増益内訳

単位:億円

JFE

	03年度実績(A)			04年度見通(B)			差異 04上⇒04下
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	
(単体)	(728)	(833)	(1,561)	(1,000)	(1,000)	(2,000)	(0)
経常利益	965	1,120	2,085	1,200	1,450	2,650	250

スチール単体変化

- コスト変動 **+70**
 - 変動費 **+90** (配合/歩止/原単位等)
 - 労務費 **▲15** (効率化に賞与UP▲30を折込)
 - 償却費 **▲25**
 - 固定費 **+10** (補修費削減)
 - その他 **+10**
- 為替レート **-** (レート105→105)
- 原料単価 **▲60**
- 数量、構成、価格 **+40**
- 営業外損益他 **▲50** (金融収支▲20、廃却損等▲30)

スチール単体利益変化 **0** (04上1,000億円→04下1,000億円)関係会社利益変化 **+250** (季節差を主因に改善)



JFEエンジニアリング

JFE都市開発

LSI事業

2004年度 連結業績見通し



JFE

JFEエンジ 03年度⇒04年度

(億円)

	03年度実績			04年度見通			差異 年間
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	
環境	574	917	1,491	700	800	1,500	9
その他	846	1,044	1,890	800	1,500	2,300	410
受注高	1,420	1,961	3,381	1,500	2,300	3,800	419
環境	398	949	1,347	500	1,100	1,600	253
その他	639	1,408	2,047	700	1,500	2,200	153
売上高	1,037	2,357	3,394	1,200	2,600	3,800	406
環境	▲ 52	52	0	▲ 40	80	40	40
その他	▲ 21	52	31	▲ 50	90	40	9
営業利益	▲ 73	104	31	▲ 90	170	80	49

売上増による効果 +50
 事業環境悪化(プライスダウン) ▲60
 コストダウン・固定費削減等 +59



JFE

都市開発・LSI 03年度⇒04年度

都市開発

(億円)

	03年度実績			04年度見通			差異 年間
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	
売上高	90	172	262	120	210	330	68
営業利益	5	9	14	6	13	19	5

分譲マンション引渡し増、横浜山の内住宅用地先行売却により増収増益

LSI

(億円)

	03年度実績			04年度見通			差異 年間
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	
売上高	198	206	404	230	290	520	116
営業利益	23	26	49	29	32	61	12

デジカ向、薄型TV向、携帯用LCDドライバー向の出荷増により増収増益



JFEホールディングス

2004年度 連結業績見通し



2004年度業績見通し

JFE

	03年度実績		04年度見通し		増減	
	上期	年間	上期	年間	上期	年間
売上高	11,203	24,737	12,400	26,700	1,197	1,963
営業利益	1,099	2,536	1,250	3,050	151	514
営業外損益	△171	△352	△100	△250	71	102
経常利益	927	2,183	1,150	2,800	223	617
特別損益	△154	△319	△350	△800	△196	△481
税前利益	773	1,864	800	2,000	27	136
税・少持	△322	△795	△350	△900	△28	△105
当期利益	450	1,068	450	1,100	0	32



JFE

連結売上高・営業利益見通し

	03年度実績		04年度見通し		増 減	
	上期	年間	上期	年間	上期	年間
鉄 鋼 事 業	10,042	21,039	11,000	22,400	958	1,361
エンジニアリング事業	1,037	3,394	1,200	3,800	163	406
都市開発事業	90	262	120	330	30	68
L S I 事業	198	404	230	520	32	116
消去又は全社	△164	△363	△150	△350	14	13
売 上 高	11,203	24,737	12,400	26,700	1,197	1,963
鉄 鋼 事 業	1,146	2,427	1,300	2,900	154	473
エンジニアリング事業	△73	31	△90	80	△17	49
都市開発事業	5	14	6	19	1	5
L S I 事業	23	49	29	61	6	12
消去又は全社	△2	12	5	△10	7	△22
営 業 利 益	1,099	2,536	1,250	3,050	151	514

2004年度 特別損益と当期損益

(単位:億円)

経常利益 2,800

特別損益 ▲800

■ 退職給付移行差額 ▲220

■ 資産処分等 ▲580

(減損会計導入を見据え資産処分を推進)

税引前当期利益 2,000

税金費用・少数株主損益 ▲900

当期利益 1,100



JFE

2005/3末 連結株主資本

(単位:億円)

	04/3	05/3予	変化
資本金	1,000	1,000	0
資本剰余金	6,004	6,004	0
利益剰余金	535	1,460	925
評価差額金	518	518	0
為替換算調整勘定等	▲ 596	▲ 382	214
資本計	7,462	8,600	1,138

当期利益 1,100
 04/6配当 ▲175

中期計画
 前倒し達成

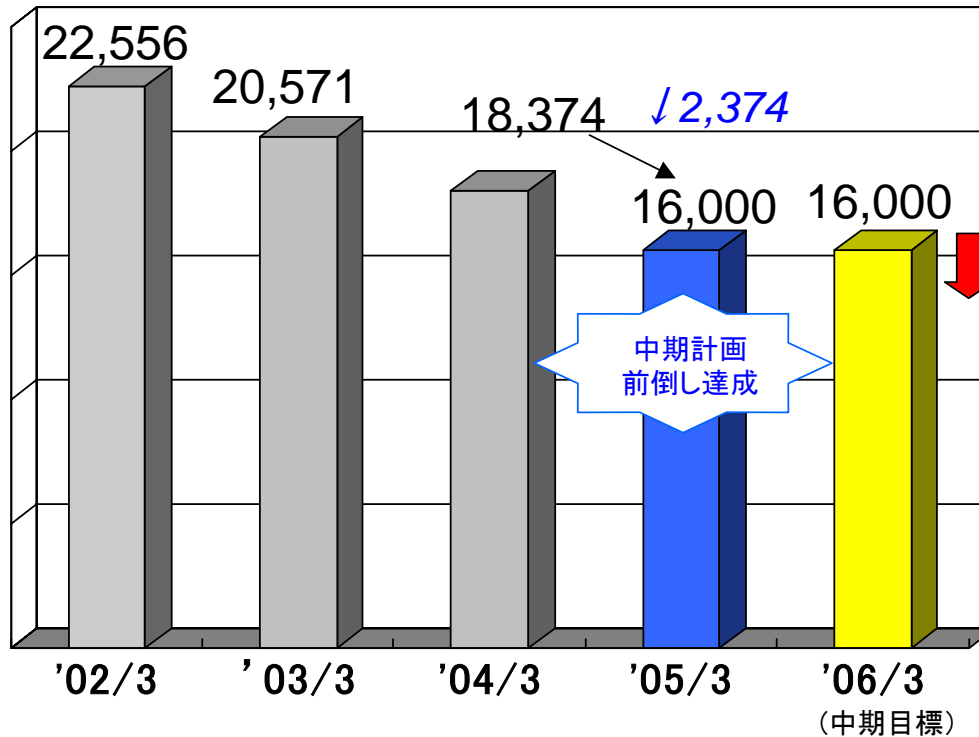


JFE

2004年度C/F と 05/3借入金・社債

(単位:億円)

経常利益	2,800	}	フリーキャッシュフロー	2,000
減価償却費	1,800		連結範囲変更等	374
設備投資(支払ベース) ▲	1,620		借入金削減	2,374
その他 ▲	980			











中期経営計画の進捗状況



JFE

中期経営計画の進捗状況①

(単位: 億円)

	2002年度 実績	2003年度 実績	2004年度 見通し	2005年度 中期目標	
〈PL指標〉	経常利益	1,046	2,183	2,800 	2,500
	当期利益	159	1,068	1,100	1,300
	一株あたり当期利益	27.74円/株	185.84円/株	187.58円/株	226円/株
	(期中平均発行済株式数)	(574.0百万株)	(575.1百万株)	(586.4百万株)	(574.7百万株)
〈BS指標〉	総資産残高	38,316	37,244	36,000	34,600
	借入金・社債残高	20,571	18,374	16,000 	16,000
	株主資本	5,945	7,462	8,600 	8,300
	利益剰余金	▲ 481	535	1,460	1,800
〈財務指標〉	EBITDA *1	3,166	4,323	4,820 	4,500
	ROS	4.3%	8.8%	10.5% 	10%
	ROA	3.7%	6.5%	8.2%	9%
	D/E(負債資本比率)	346%	246%	186% 	190%
	株主資本比率	15.5%	20.0%	23.8%	24.0%

*1 経常利益+支払利息+減価償却費



JFE

中期経営計画の進捗状況②

(単位:億円)

	02年度 実績	03年度 実績	04年度 見通し		05年度 中期目標
スチール	1,329	2,427	2,900		2,700
エンジ	128	31	80		180
都市開発	10	14	19		40
LSI	12	49	61		30
全社消去	▲ 12	12	▲ 10		▲ 20
営業利益計	1,468	2,536	3,050		2,930

スチール	910	2,085	2,650		2,300
エンジ	120	54	100		160
都市開発	3	13	17		40
LSI	10	45	60		30
全社消去	3	▲ 14	▲ 27		▲ 30
経常利益計	1,046	2,183	2,800		2,500

※02年度経常利益は概算値



JFE

(参考) 鉄鋼事業

02年度⇒04年度 連結経常利益+1,740億円増益内訳

JFEスチール

単位: 億円

	02年度実績(A)			04年度見通(B)			差異 02⇒04
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	
(単体)	(147)	(456)	(603)	(1,000)	(1,000)	(2,000)	(1,397)
経常利益	225	685	910	1,200	1,450	2,650	1,740

目標
2300

《02実⇒05中期》

スチール単体変化

- **コスト変動** +1,060
 - 変動費 +1,040 (統合効果を最大限に発揮)
 - 労務費 ▲85 (効率化+90に賞与UP▲175を折込)
 - 償却費 +90
 - 固定費 +65 (補修費削減)
 - その他 ▲50 (年金数理差異、特別退職金経常内取込等)
- **償却費一過性** ▲210 (京浜福山定率法採用、増加償却)
- **為替レート** ▲270 (レート121.9→105 16.9円円高)
- **原料単価** ▲1,820
- **数量、構成、価格** +2,440
- **営業外損益他** +197 (金融収支+93、為替予約+40、為替換算+55等)

+880

未織込

▲200

未織込

+450

±0

スチール単体利益変化 +1,397 (02年度603億円→04年度2,000億円) +1130

関係会社利益変化 +343 (03 307億円→04 650億円 電炉、ミカ、資源、鋼材加工系中心) +260



JFE

(参考) エンジニアリング事業

02年度⇒04年度 連結経常利益 ▲20億円減益内訳

(億円)

	02年度 実績	04年度 見通し	差異
環境	1,770	1,500	▲270
その他	1,910	2,300	390
受注高	3,680	3,800	120
造船	520		▲520
環境	1,880	1,600	▲280
その他	2,173	2,200	27
売上高	4,573	3,800	▲773
経常利益	120	100	▲20

不採算事業からの撤退
マリンエンジニアリング、地域開発
特殊建築など

プライスダウン	▲114
販売規模増減	▲30
粗利改善(コストダウン等)	121
固定費削減(販管費等)	43
造船影響	▲40
計	▲20

(参考)

02実⇒05中期	目標
▲60	160
20	
80	
40	
▲40	
40	



中期経営計画の進捗状況③

JFE

連結キャッシュフローの状況

(単位:億円)

	03年度	04年度	03~04年度 2年間累計	03~05年度 3年間累計
経常利益	2,183	2,800	4,983	5,800
減価償却費	1,856	1,800	3,656	4,900
設備投資	▲ 1,295	▲ 1,620	▲ 2,915	▲ 3,850
設備収支	561	180	741	1,050
投融资支出	▲ 384	▲ 70	▲ 454	▲ 400
資産圧縮 ※	342	420	762	1,500
法人税・配当他	▲ 505	▲ 956	▲ 1,461	▲ 3,450
借入金削減	2,197	2,374	4,571	4,500

※ 土地売却	123	130	253	400	500
株式売却	168	290	458	550 ←	500
スチール棚卸資産	51	未織込	51	370	500

02年度前倒し、
03年度への繰延を
調整した修正目標

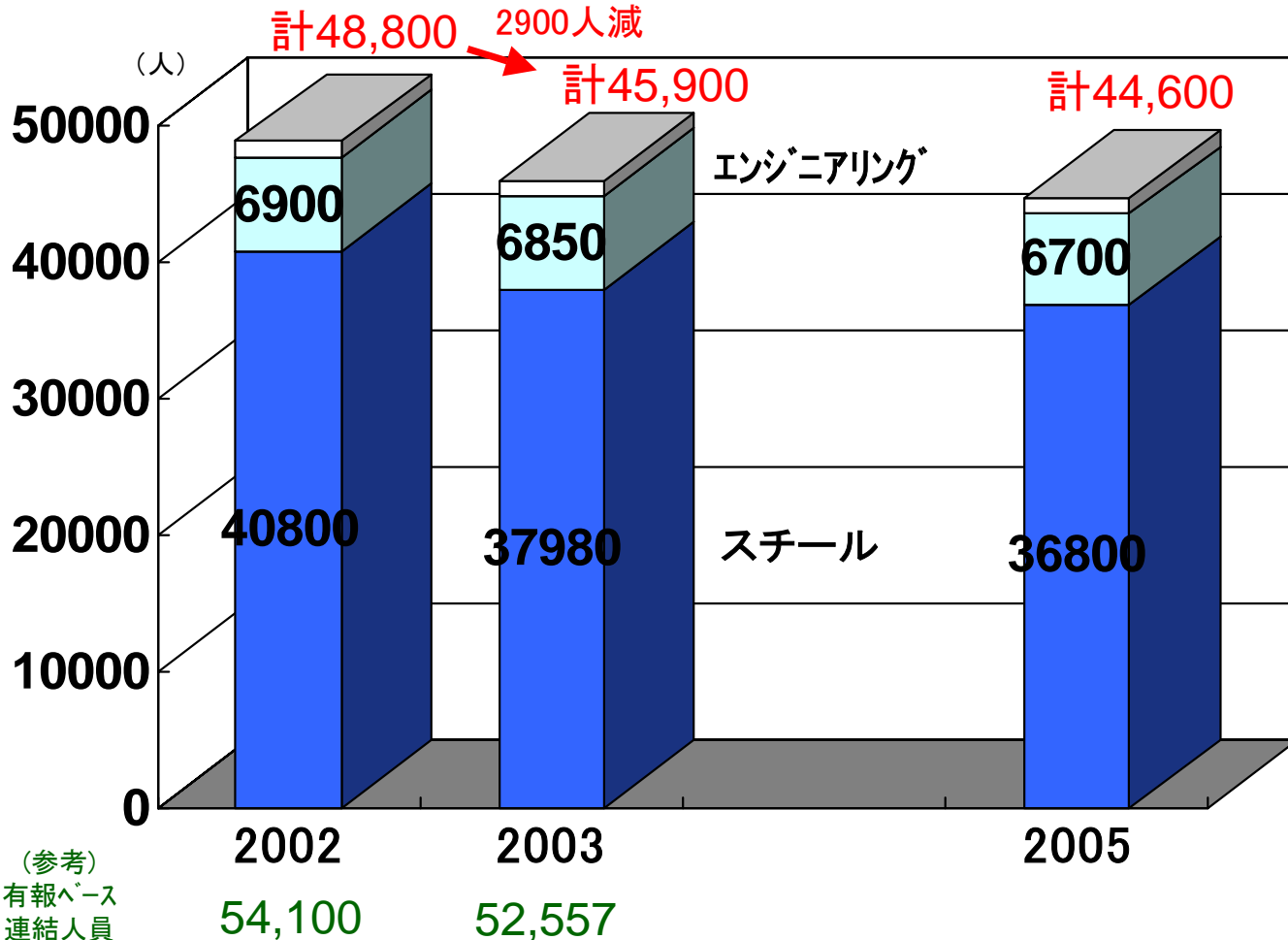


JFE

中期経営計画の進捗状況④

要員削減の状況

(注)ホールディングス、事業会社及び事業会社の国内直属子会社
(除く事業会社の孫会社)





トピックス：福山5高炉の改修

福山第5高炉(1986年2月19日火入れより約18年経過)を04年度下期に改修する。

- 金額 :約210億円
- 炉内容積 :4,664m³⇒5,500m³程度
- 工事時期 :2005年1月～3月
(大ブロックリング工法の採用により工期は約60日の予定)
- ねらい :老朽化による出銑能力低下や操業維持のための補修費の上昇の抑止

高炉の炉体を3～4の大きなブロックに分割(輪切り状)して予め建造しておき、上側のブロックから順次吊り上げて据付溶接していく方法

(参考)大ブロック工法による改修実績

- ①1998年 東日本製鉄所千葉地区第6高炉2次改修 (工期;62日間)
- ②2001年 西日本製鉄所倉敷地区第4高炉3次改修 (工期;70日間)
- ③2003年 西日本製鉄所倉敷地区第2高炉4次改修 (工期;75日間)



トピックス：福山コークス炉の増設①

福山第5コークス炉の既存炉団(A,B,C団)に隣接する
新炉団(55門・年産40万トン(塊コークス))を増設

- 金額 :約110億円
(既存炉団の共用設備の活用により投資額を低廉化)
- 工事時期 :2004年5月～2006年6月
- ねらい :コークス横持削減、コークス購入抑止

(参考) 現有コークス炉の概要

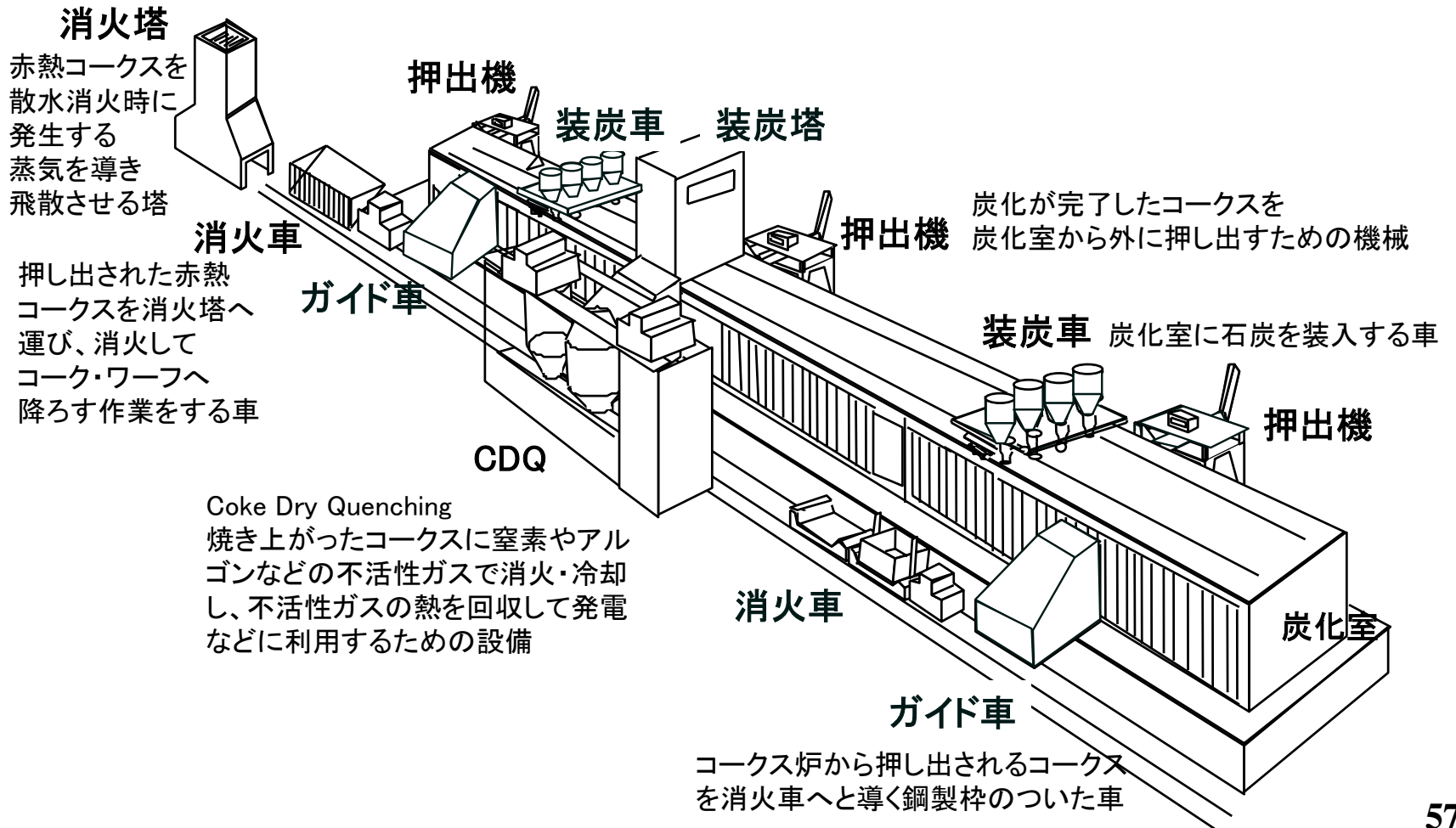
	コークス炉 (炉団)	総門数	能力 (総コークス量)
東日本製鉄所 (千葉地区)	No.5 (A,B)、No.6 (A,B)、No.7 (A,B)	260	288 万トン
(京浜地区)	No.1 (A,B)、No.2 (A)	198	248
西日本製鉄所 (倉敷地区)	No.1 (A,B)、No.2 (A,B)、No.3 (A,B)、 No.4 (A,B)、No.5 (A,B)、No.6 (A)	463	500
(福山地区)	No.3 (A,B)、No.4 (A,B,C)、No.5 (A,B,C)	444	446



JFE

トピックス：福山コークス炉増設②

一般的なコークス炉模式図





トピックス：中国金融引締め影響①

JFE

<金融引締め策概要>

1. 中国経済（04年1-3月）

- ・GDP 2兆7106億元（前年同期比 +9.7%）
- ・固定資産投資総額 8799億元（前年同期比 +43%）

2. 温家宝首相発言（全国人民代表会議常務委員会 2004年3月9日） 経済好調なるも、投資急増に懸念表明。

3. 現在までに発表された金融引締め策

- ①公定歩合引上げ 3.24→3.87%（3月25日）
- ②預金準備金比率引き上げ 7.0→7.5%（4月25日）
- ③投資抑制 国務院通達（4月27日）

鉄鋼、アルミ、セメント、不動産投資プロジェクト 自己資本比率下限引上げ
下限値 鉄鋼25→40% アルミ他20→35%



トピックス：中国金融引締め影響②

＜鋼材市況への影響＞

●中国鋼材市況全般への影響

03年から急激に伸びた建設投資関連は、金融引締め策の影響を受ける。棒鋼・線材等の建材では、一時的な市況下落が発生している。

●JFE鉄鋼輸出への影響

- ・JFEの中国への建材輸出は極少量。また当社のOnly 1, No1商品の極薄高級建材である為、殆ど影響受けず。
- ・JFEの中国向け輸出の大部分は、自動車、家電、造船等の高級鋼板。これら分野は数年来安定成長続け、材料不足状態が継続(客先在庫も下限状態)。今回の金融引締めによっても、その基調に変化無い。

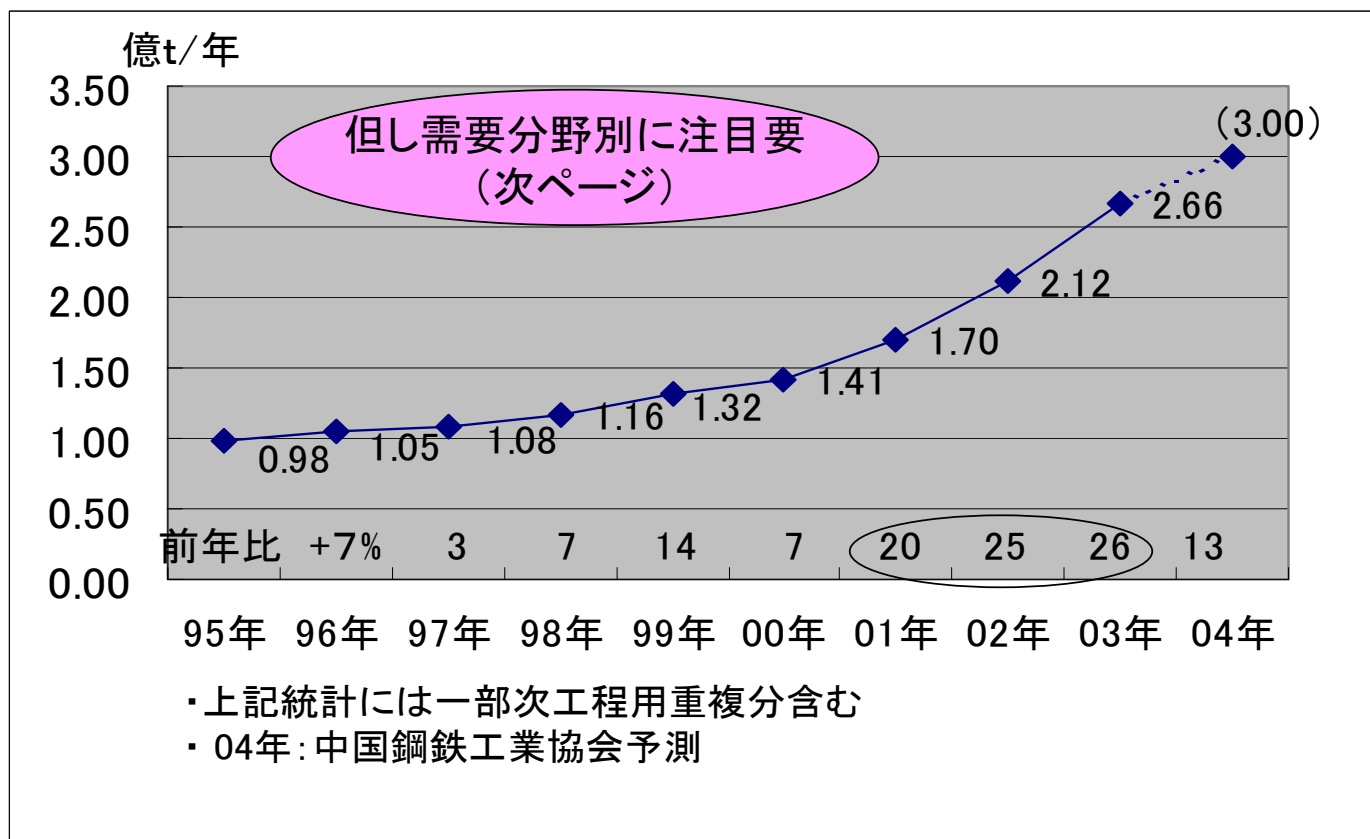


JFE

トピックス：中国金融引締め影響③

＜中国鋼材見掛消費伸び＞

見掛消費総量は01年より3年連続20%台の増加





トピックス：中国金融引締め影響④

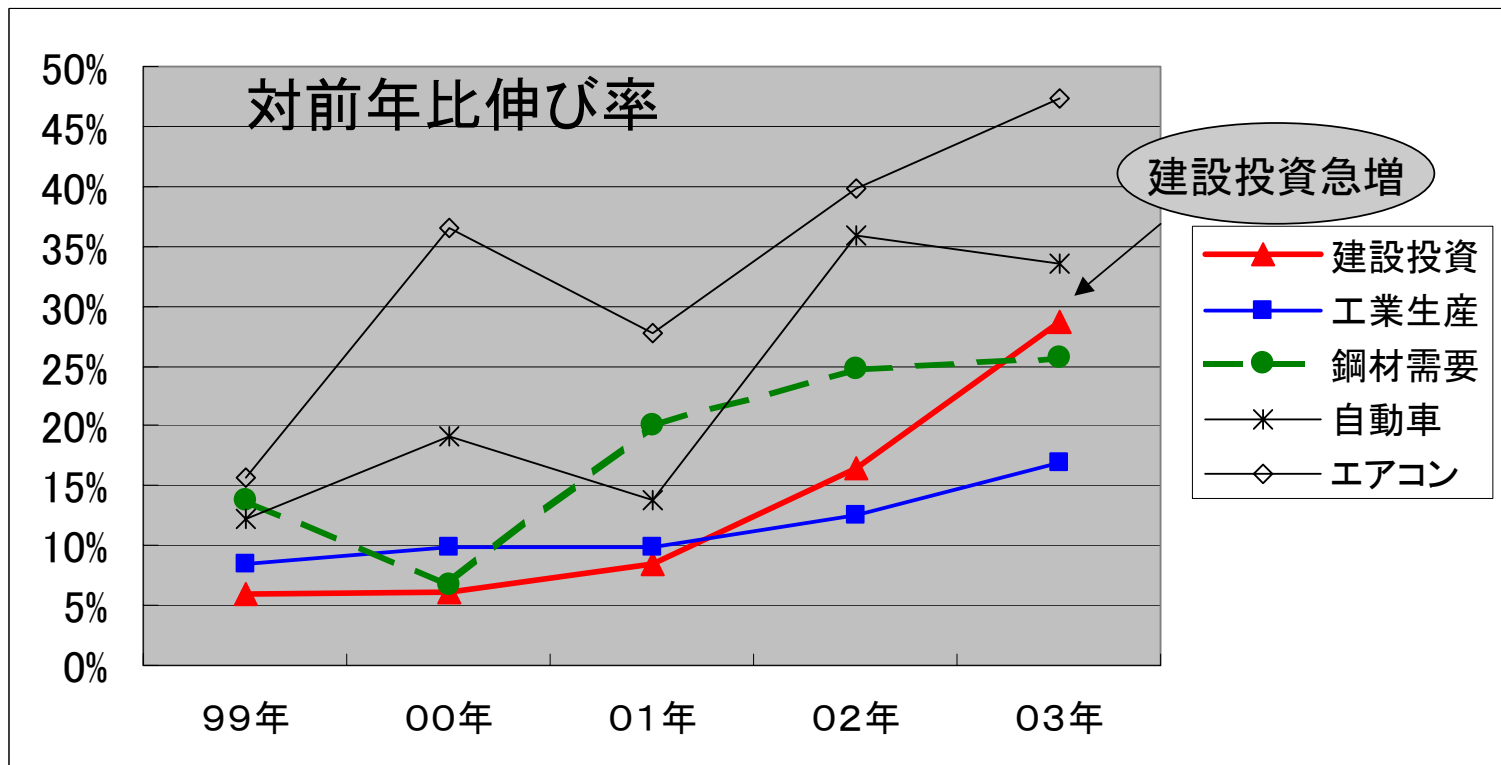
JFE

＜中国主要産業活動水準＞

- ・建設投資が03年に急激に伸びたことにより、タイト感増幅。

※中国総鋼材需要に占める建設鋼材比率は約50%を超え最大。

- ・工業生産は数年前より安定して継続成長。





JFE

トピックス：中国金融引締め影響⑤

＜中国鉄鋼需給変化総括＞

需要		供給
分野	変化	変化
1. 建設	投資抑制で調整局面↓	<ul style="list-style-type: none"> ・原料不足で供給不足↓ ・中国鉄鋼設備関連投資規制による生産抑制↓
2. 製造	堅調↑（一部個人消費には影響）	
3. エネルギー他	堅調↑	
特記	<ul style="list-style-type: none"> ・目標GDP成長率も7%台と高水準。（現在9%越え） ・鋼材見掛消費208kg（03年）であり、依然高い成長余地。 	

建設分野の調整を除き、堅調さは継続する。

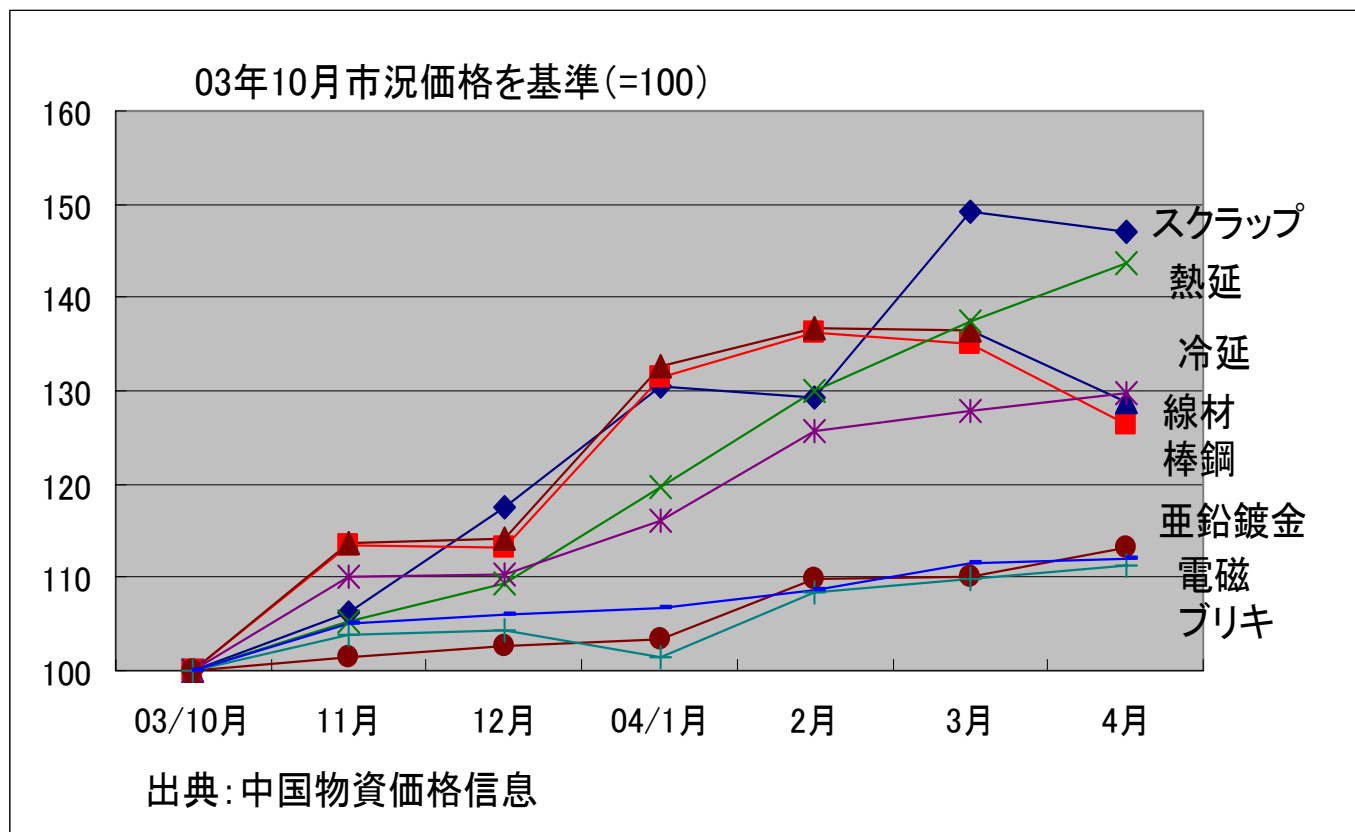


JFE

トピックス：中国金融引締め影響⑥

＜中国鋼材市況推移＞

- ・棒鋼・線材は調整(下降)局面
- ・薄板等他品種は堅調。





トピックス：中国金融引締め影響⑦

JFE

＜中国鋼材消費におけるJFE鋼材の位置付け＞

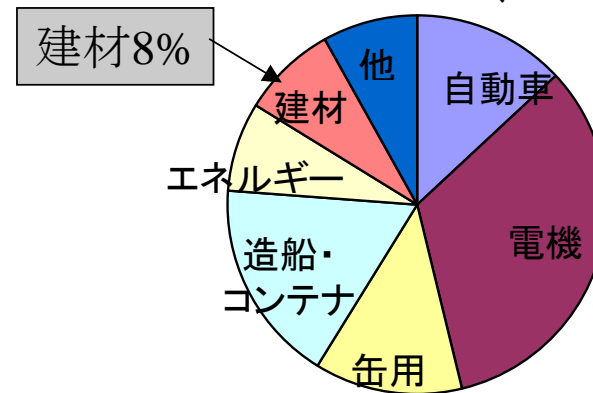
1. 中国鋼材需給(2003年)

百万t/年

・鋼材見掛消費	266
(内、建材用が50%超)	
・国内生産	236
・輸出	7
・輸入	37
内日本からの輸入	8
内JFEからの輸入	2
全見掛消費量の約1%	

2. JFEの中国向け輸出

(2003年)



- ・中国の鋼材消費全体に占める、JFE輸入鋼材はごく一部(1%)。
- ・JFEの建材は、JFE中国向けの8%のみ。しかも特殊な極薄鋼板であり、サプライヤーが限定され、需給タイトな商品である為、一般建材に比べ影響小さい。



トピックス：中国金融引締め影響⑧

<JFE輸出販売内訳(全世界向け)>

構成比

アライアンス向け 42%

紐付き需要家向 40%
(自動車・家電・造船等)

Only1 No.1商品等 18%

※左記外数
アライアンス先、
紐付き需要家から
販売要求あるも、
ライン生産余力無く
販売対応不可の
鋼材が200万t超え。

終了